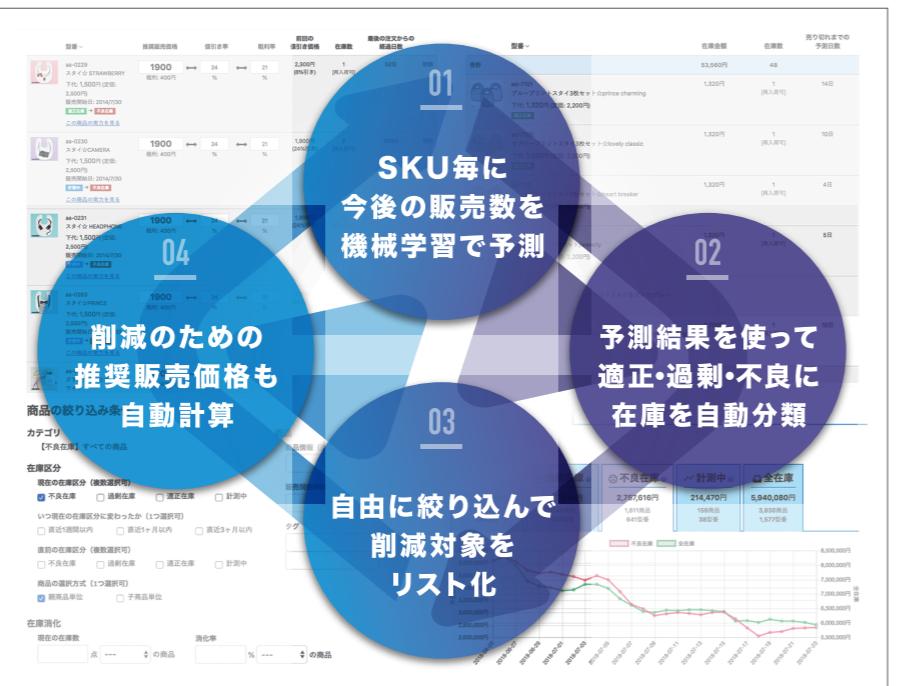


# あらゆるリテールに共通の悩み 「在庫」の適正化を支援する分析ツール 『FULL KAITEN』

不良在庫や過剰在庫を削減し、在庫を適正化することは、あらゆるリテールの重要な課題です。その経営上の重要課題でもある「在庫管理」をシステム化で実現できるのが在庫分析ツール『FULL KAITEN』です。開発元であるフルカイтен株式会社代表取締役社長瀬川直寛氏にお話を伺いました。

## 「FULL KAITEN」 3つのポイント

- 1 「在庫削減」「仕入れの適正化」「粗利の向上」という3つの分析に対応
- 2 SKU単位で、「適正」「過剰」「不良」在庫を自動分類
- 3 在庫処分施策の立案・実施に有効な割引価格等を自動でレコメンド



記録していると「このところ全在庫に対して不良在庫の割合が増えてきているな。ちょっと危なそうだから、削減のタイミングかもしれない」という判断ができるようになります。

そのためには、数万、何十万というSKUを毎日分析しながら、「適正」「過剰」「不良」の3つを自動分類する機能を用意しています。担当者は、分析自体に時間や労力をかけることなく、分析結果を活用することに集中できるので、大幅な業務効率化が可能になりますし、コア業務に専念することができます。

重要なのは、「過剰在庫」や「不良在庫」を発見することではなく、発見された「過剰在庫」や「不良在庫」をどのようにキャッシュに変えるか、ということです。例えば、「直近1週間で不良在庫化した商品」や、「適正在庫から過剰在庫にランクダウンした商品」など、削減対象の商品を絞り込んで、削減を実現することができます。

『FULL KAITEN』では、過剰在庫や不良在庫を削減するための機能も提供しています。すでに触れた通り、『FULL KAITEN』では1時間単位で分析を更新して行きますので、例えば、「直近1週間で不良在庫化した商品」や、「適正在庫から過剰在庫にランクダウンした商品」など、削減対象の商品を絞り込んで、削減を実現することができます。

## さらなる進化により、在庫管理のあり様を変革する 『FULL KAITEN』

現在、『FULL KAITEN』は、バージョンアップ開発が進んでいます。年内にはバージョン2をリリース予定です。現状のバージョン1では、分析はSKU単位ですが、新バージョンでは、

**CONTACT** お問い合わせはこちらへ  
**フルカイтен株式会社**  
**06-6225-3051** 担当 岡本、瀬川  
対応時間 平日9:00~18:00  
✉ info@full-kaiten.com  
<https://full-kaiten.com>  
**FULL KAITEN** **検索**

## PROFILE



### フルカイтен株式会社

代表取締役社長  
**瀬川 直寛** Naohiro Segawa

自社ECの在庫問題で3度も倒産危機を経験。一般的な在庫分析方法の間違いに気付いたことをきっかけに、在庫改善に特化したクラウドサービス『FULL KAITEN』を開発。在庫問題に悩む経営者・マーケティング責任者から絶大な信頼を得ています。



当社が開発・提供している『FULL KAITEN』は、一言でいえば、「在庫分析のためのクラウドサービス」です。機能としては、大きく分けて3つあります。「在庫削減」「仕入れ最適化」「粗利増加」です。特に「在庫削減」については皆さん高い関心を示していましたが、今回はその部分にフォーカスして、『FULL KAITEN』についてご説明しましょう。

このシステムの「在庫削減」分析では、現状の在庫を「適正在庫」「過剰在庫」「不良在庫」のいずれかに自動で分類します。分類する際の単位はSKUです。ですから、例えば同じTシャツでも、Sサイズの赤は適正在庫だが、Sサイズの青は不良在庫と分類されることもあります。

何をもつて「適正」「過剰」「不良」を判断するかというと、おおむね過去半年程度の販売実績データを使って、現状の在庫数だと、そのSKUがどのくらいの日数で何個売れるかを分析予測します。その結果を使って、一定期間内ですべて売り切れる予測の在庫を「適正」、一定期間内では売れ残る予測の在庫を「過剰」、一定期間内で全く売れない予測の在庫を

## 数万、数十万のSKUも、1時間単位でデータ分析

『FULL KAITEN』を活用していただければ、基幹システムなどと連携することで、1時間単位で販売データなどを『FULL KAITEN』に取り込んで、「適正」「過剰」「不良」の分類・分析ができます。

『FULL KAITEN』のダッシュボードを開くとその時点の最新の分析結果が表示されます。これまで何時間も、何日もかけて分析をしていたものが自動で完了するのです。その分析結果が時系列で折れ線グラフのように毎日記録されると、いつでも何時間も、何日もかけて分析をしていたものが自動で完了するのです。

『FULL KAITEN』をご利用のお客様の中には、この機能を活用して、1ヶ月間で1000万円超の「不良」在庫の削減を実現したケースなどがありますが、数百万円程度の削減は多くのお客様が実現しています。

さらに、ECとリアル店舗で販売を行うオムニチャネル・スタイルのお客様については、店舗間の在庫移動などに必要な分析もサポートできるようになります。現在のバージョンでは擬似的にアクションを発行することで、オムニチャネル展開の在庫管理に対応しているのですが、新バージョンでは標準機能としてご利用いただけます。

『FULL KAITEN』は、どんな商材を扱っているかに関わらず、リテールが宿命的に抱えている「在庫問題」を解決できるツールです。ぜひご活用いただけます。

「不良」と分類します。

『FULL KAITEN』では、この分析のために複数のアルゴリズムを使ってSKUごとの実績に照らして、もっとも誤差の少ないアルゴリズムの結果に基づいて結果をアウトプットしています。商品によって売れ行きには違いがあり、ひとつアルゴリズムが上がらないので、複数のアルゴリズムを使うことで、より精度の高い予測分析ができるようになります。